

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北里大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キタサトダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	医療衛生学部 健康科学科
	担当教職員名・役職	太田久吉・教授、岩下正人・助手
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	10
受入企業等数	6	
受入企業等名	新日鐵住金株式会社(労働衛生管理) 財団法人北里環境科学センター(水質分析、食品・防菌(微生物)町田予防衛生研究所(臨床検査関連) 中央労働災害防止協会調査分析室(化学物質曝露調査)ソニーコーポレートサービス株式会社 総務センター リスクマネジメント部 安全衛生課	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等において社員の補助的業務の一部を経験する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	将来就職するであろう企業、調査・研究機関等に出向し、実際の業務の一端に触れる。これにより、座学→実習→現場とのつながりを理解し、それぞれの違いを認識する教育インターンシップの科目である。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	全ての研修企業ではないが、企業が開催する研修成果発表会に出席して、学生の研修成果について質疑応答を行う場合がある。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修目的を企業に明示して、研修企業から研修計画を事前に提示していただき研修内容を把握している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修企業の担当者による、研修内容に関する課題の報告書(レポート)を作成し評価していただいている。また、大学にも研修報告書が提出され、インターンシップ教育研修の評価の参考として用いている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	全ての研修企業ではないが、企業が開催する研修成果発表会に出席して、学生の研修成果について質疑応答を行う場合がある。

要素④	4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	1. アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2. 以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	1. 連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	原則、1日8時間、5日間
	5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	課題(報告書、レポート)作成がある企業では、現場研修時間外に報告書を作成。
	5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. 以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	連続した5日間以上の実施期間を確保している。複数企業で研修を希望する場合は研修期間が5日以上になる。	
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5. 企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2. 以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	プログラムを大学等と企業が協同して設計・評価している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://kitasato-ahs.e-campus.gr.jp/public/syllabus/2018/show/2287
問い合わせ先	大学等名	北里大学
	担当部署名	就職センター
	担当者役職名	なし
	担当者氏名	森山 由美子
	電話番号	042-778-9745
	メールアドレス	syusyoku@kitasato-u.ac.jp